

事務事業名		小中連携・一貫教育推進事業			会計	一般会計					
課等名		学校教育課			事業種別	政策		開始	23	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	22	義務教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	小学校・中学校			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を実施する。				小中学校数			28		
	向上させたい上位施策の成果指標	不登校の児童・生徒数									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	小中連携・一貫教育を実施する中学校区数			2	2	9	9			
	成果指標	連携・一貫教育を受ける児童生徒数			1475	1475	9014	8758			
定性目標											
事業概要	<p>小中学校間の接続を円滑にすることで中1ギャップの解消を図る。中学校区単位で、①義務教育9年間を見通した共通の教育理念に基づいた児童・生徒間の交流活動の推進、②小中学校の教職員間の連携の強化、③地域資源の積極的な活用等により、学力・体力の向上及び不登校問題の解決を図る。</p> <p>※中1ギャップ:小学校から中学校に進学する際の、教科担任制や授業スタイルの変化、学校生活や人間関係の変化に対する戸惑などにより生じる不安定感や学習意欲の低下など</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 モデル校における小中連携・一貫教育の実践				1 小中連携・一貫教育導入校数			1 2中学校区			
	2 モデル校への教育支援指導主事配置				2 講師配置数			2 2人			
	3 小学校へ教師用中学校教科書、中学校へ教師用小学校教科書の配布				3 教師用教科書配布			3 500冊			
	4 全校実施に向け、小中連携・一貫教育推進委員会の開催と推進体制の整備				4 推進委員会			4 8回			
	5 小中連携・一貫教育実施要項(全中学校区において共通して取り組む骨子)の作成及び小中連携・一貫教育実施計画の策定(モデル校2中学校区以外)				5 実施計画作成			5 7中学校区			
	6 教職員を対象にした先進地(塩尻市立両小野小、豊橋市立豊岡中)視察研修の実施				6 先進地視察の回数			6 2回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	5,922	5,880	26,878	(県)笑顔で登校支援事業補助金(補助率1/2)					
国庫支出金											
県支出金			1,226	1,219							
起債											
その他											
一般財源		0	4,696	4,661	26,878						
人件費計(千円)②		0		536							
正規職員所要時間		0		150							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	5,922	6,416	26,878						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>本年度、モデル校区において、「小中連携・一貫教育」に取り組むとともに、その他の中学校区で事業計画を策定し、平成25年度から全校区で取り組むための体制を整えることができた。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	学級数が多い中学校区では、小中連携・一貫教育を進める上で教職員の負担感が大きい。									
	②改革提案	学級数が多い中学校区を中心に、教育支援指導主事を増員し、教職員及び課題を抱える児童生徒の支援を行う。									